



—北アフリカ地域ニュース—

スーダン：南スーダン独立に対するエジプトおよびアラブ連盟の反応

(10日付エジプト各紙)

1. エジプト代表団の南スーダン独立式典への出席

- (1) エジプトからは、ガマル副首相を長とする代表団が出席。エルオラービー外相、ユニス電力・エネルギー相が同行した。
- (2) エジプト代表団は、南スーダン政府に対してエジプトが国家承認すると伝達した。また、同代表団は、エジプトが引き続き南北スーダンの懸案解決のために協力すると述べた。

2. アラブ連盟の立場

9日、ベン・ヘッリ・アラブ連盟副事務総長は声明において以下のように述べた。

- (1) アラブ連盟は南スーダンを国家承認する。
- (2) アラブ連盟憲章が「アラブ連盟加盟国の諸憲法は、アラビア語を公用語として承認していなければならない」と規定し、この条件は南スーダンに当てはまることから、南スーダンもアラブ連盟に加入する権利を十分に有している。南スーダンがアラブ連盟に加盟するか否かの判断は、新政府の政治的意思によって決定される。
- (3) アラブ連盟は、今後も南北スーダンが、建設的な協力関係および両国が共有する共通利益の枠組みの中で、現在の関係を継続させていくと確信している。